

顔に関連する部首(2)

臣 甘 齒 齒 舌
言

臣は、目を大きく見開いて、“見張る”意味を表わした字です。臣下たる者の任務を表わしたものです。

監は、監で、入が皿に水を盛り、これを水鏡にして“みる”のが本義の字です。詳しくは第一部の監を御覧ください。

臨は、入が品物に近づいて、よく“品定めをする”のが本義の字です。入と臣と品との会意形声字です。音は品が変化してリン。今は、“その場に出向く”意味に使います。臨席。

甘

甘は、口の中に“うまい”物を含んでいることを表わした指事字です。

“あまい”こと。音は、“口に物を含む”の含^{カン}です。

柑は、“甘い実のなる木”という意味の会意形声字です。“みかん”のことですが、昔は、単に“かん”、または“柑子^{こうじ}”と言いました。

疝は、甘い物を食べすぎて起こると考えられていた小児病“かん”のことです。癩と同じ病気のことにも使われます。

旨は、匕と甘の会意形声字で、入が甘い物を口にして“うまい”ということを表わした字です。音は匕がなまってシになりました。

指は、扌と旨との会意形声字で、“うまい物をちよいとつまむ”ゆびを表わしました。音は旨^シです。

脂は、“旨い肉”という意味の字で、旨と肉の会意形声字です。“あぶらぎった肉”の意味から転じて“あぶら”の意味になりました。「油」が液状の“あぶら”であるのに対して、固形状のあぶらを言います。油脂。脂肪。

齒

齦は、齒の根という意味の字で、“はぐき”のことです。音は根^{コン}です。また銀とも発音されます。齒齦炎。

齟は、重なる意味の且と齒との会意形声字で、齒が重なるという意味の字です。“八重齒”のこと。

転じて、“物事のうまくかみあわぬこと”“食い違うこと”の意味に使われます。「齟齬(計画に齟齬をきたす)」

舌

舌は、口から“した”を出した形を表わした字です。音はゼツですが、テンとも発音されます。

甜は、舌と甘との会意字で、“舌に甘く感ずる”という意味の字です。音は舌。甜菜。甜瓜(スウィートメロン)。

舐は、舌と氏との形声字で、音は氏。“舌でなめる”ことです。

言

言は、口と辛(ケン)の形声字で、“ものいう”意味の字です。“言葉”の意味の部首です。

計は、数の意味の十と言との会意字。“数をかぞえる”こと。「計数」「計算」。転じて、計画。計略。

訓は、順の意味の川と言との会意字。“^{したが}順うべき言葉”という意味の字です。教訓。家訓。訓話。

詠は、“言葉を永くのばしてうたう”ことで、言と永の会意形声字。詠

歌。朗詠。

詐は、作の意味の乍と言との会意形声字で、“作り言”という意味の字。実際にはない事を作りあげて人をあざむくこと。詐欺。詐取。音は作。

評は、“公平に言う”という意味の、平と言との会意形声字。他人の良し悪しを、私情をさしはさまずに言うのが「批評」です。音は平です。呉音です。漢音は平。

誠は、“成功する言葉”という意味の成と言との会意形声字。虚偽の言葉は一時的には成功するかに見えても、決していつまでも続くものではない。“真心から出る言葉”こそ、成功に導く言葉である、という意味からできた字です。

譽は、與(与の旧字体)と言との会意形声字で、“言葉を与える”という意味の字。人の善美なる行為に対して贈る“ほめ言葉”のことです。毀譽褒貶。名誉。音は与。

訟は、役所の意味の公(おおやけ)と言との会意形声字で、“官公庁にううたえる”ことです。音は公が変化して公(松頌)。訴訟。

警は、慎しむ意味の敬と言との会意形声字で、“慎しみなさいと注意の言葉を与える”ことです。警告。警戒。音は敬。

記は、糸の象形の己(己)と言との会意形声字。言葉を糸のように長く続けて書きとめることです。記述。記録。

語は、“吾が人に言う”という意味の字で、“かたる”こと。また、“かたる言葉”言語。語調。

調は、用意周到の周(よく行き届くこと)と言の会意形声字で、“よく行き届いた言葉”が本義です。“ととのう”こと。今は、ととのえるために“しらべる”調べるという意味に使うことが多いようです。調査。また、“音楽の調べ”とも使います。調子。

誕は、“事実を引きのばし、誇張した言葉”という意味の字で、延と言との会意字。虚誕。欺誕。実際にないことを作り出すことから「生む」意味になりました。誕生。

詞は、役人の意味の司と言との会意字で“役人の言葉”という意味の字です。“りっぱな言葉”という意味に使われます。祝詞。

誇は、夸と言との形声字で、“大言”という意味の字。事実より大げ

さに言うことです。誇張。誇大。

証は、その事が正しいという“あかし”を言いたてることです。音は正。証言。証人。証明。保証。

誌は、志(心の動き)を言葉にして書きとめることです。音は志。日誌。雑誌。

認は、心から“みとめて”よろしいと言うことです。音は刃。認可。承認。

誘は、秀言(秀れている言葉)で“人の気を引く”ことです。“さそう”こと。音は秀が変化してユウ。勧誘。誘惑。

詳は、善美の意味の羊と言との会意形声字で、“くわしくてよくわかる言葉”という意味の字です。音は羊が変化してショウ。詳細。詳述。

談は、淡の意味の炎と言との会意形声字で、“淡々と語る”という意味の字です。音は淡。清談。閑談。談話。“激せず、固くない話”のことです。